



なっちゃんとおかあさんが、**く****の**のこみちをあるいていると、

「このちくでは、ごぼうをつくらないだって」

とおかあさん。

「え！ どうして？」

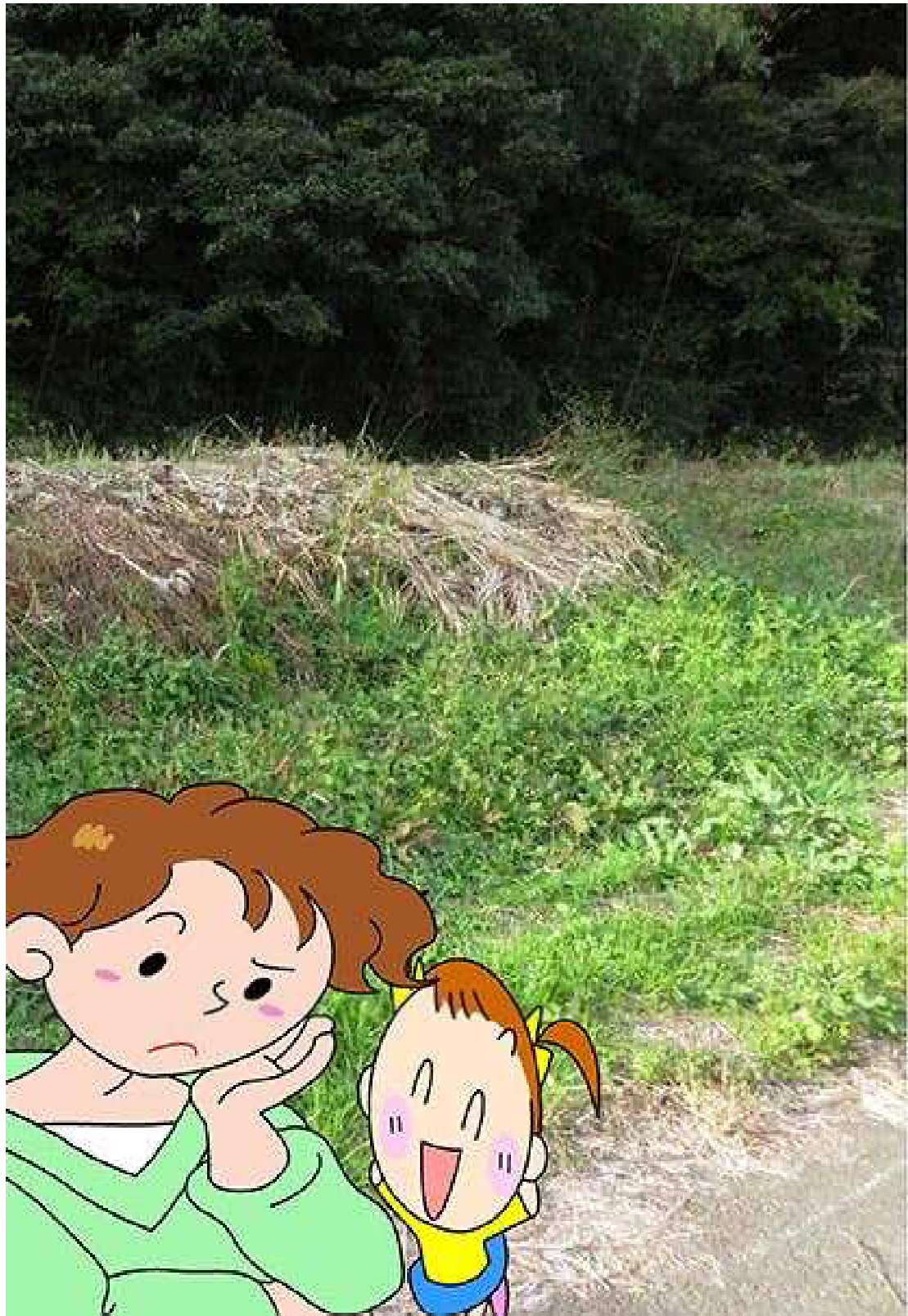
「わからないわ。なんでもむかしからの いいつたえらしいわ」

「どんな いいつたえなの？」

「ん～、わからないわ。しらべてごらん・・・」

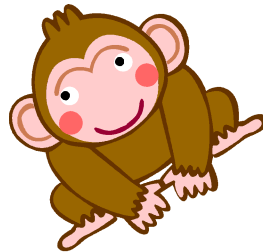
「ん～」

なっちゃんのひとみが、きらつ。

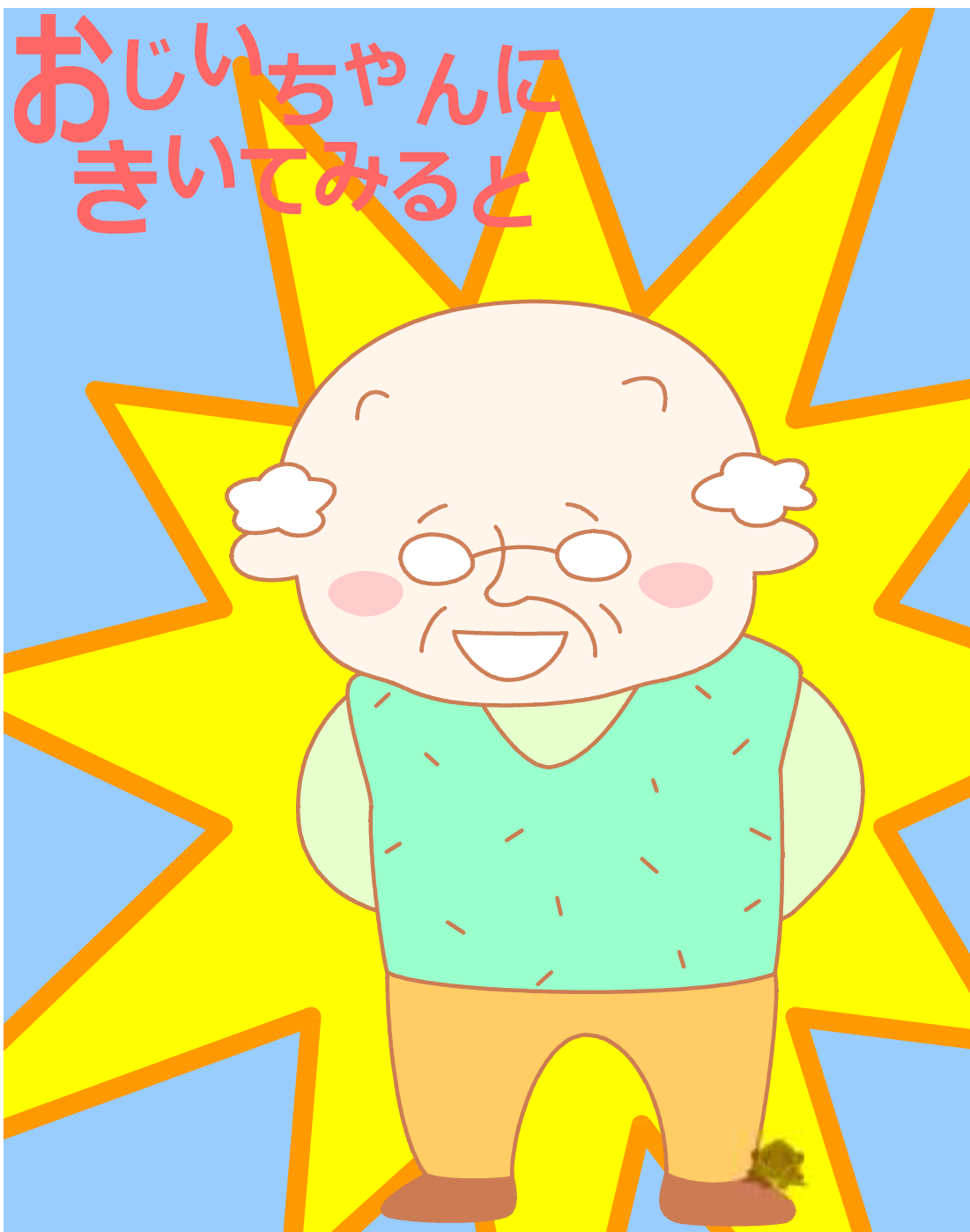


なっちゃん、おじいちゃんに きいてみることにした。ものをよく知っている おじいちゃんが、だーいすき。

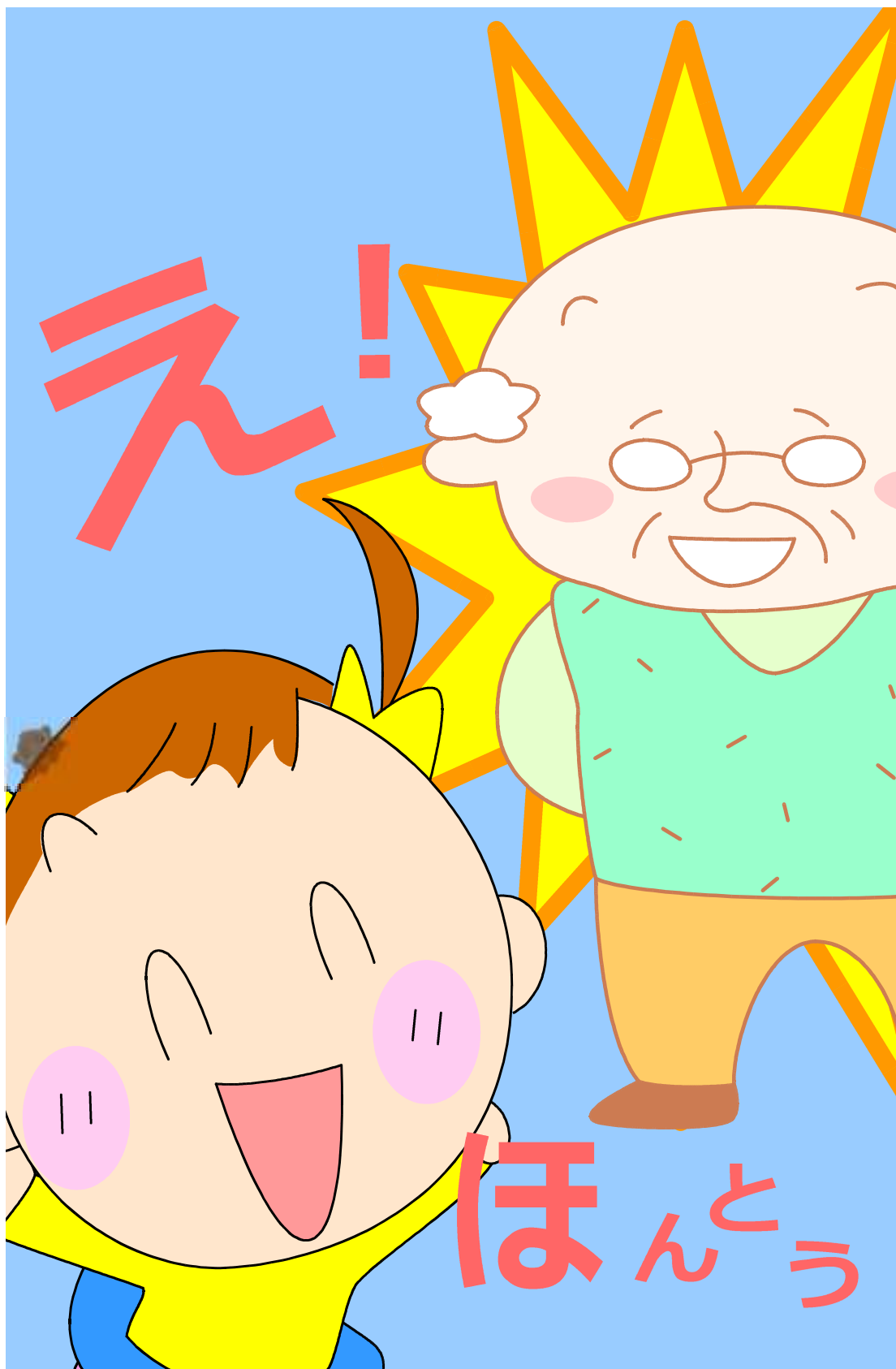
あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？



わたしは、なぜなぜでーす。



「んー、わからないなー。でもね。くのをよーくしっているけんさんにきいてみるか」



つぎのひ、おじいちゃんと
いっしょに **けんさん**のおう
ちにむかった。

けんさんのおうちにいけるかな？



けんさんのおうち

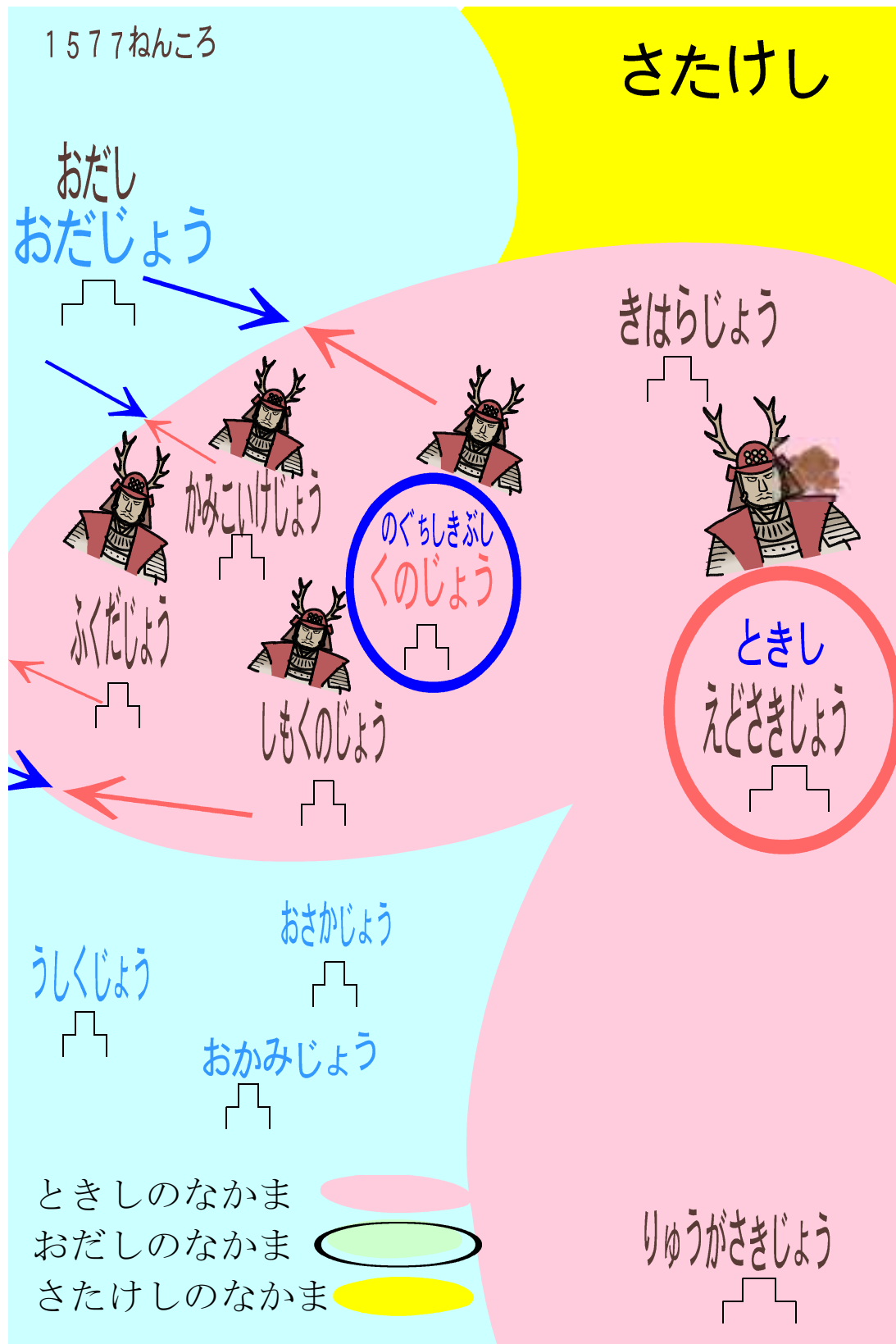
おうちにつくと、さっそく
なっちゃん、けんさんにきい
てみた。すると

「じゃー、はなしてあげよう
ね。ときは、せんごくじだい。
えどさきじょうをまもるた
めの おしろのひとつが、く
のじょうなんだよ」

「え、えどさきじょう？」

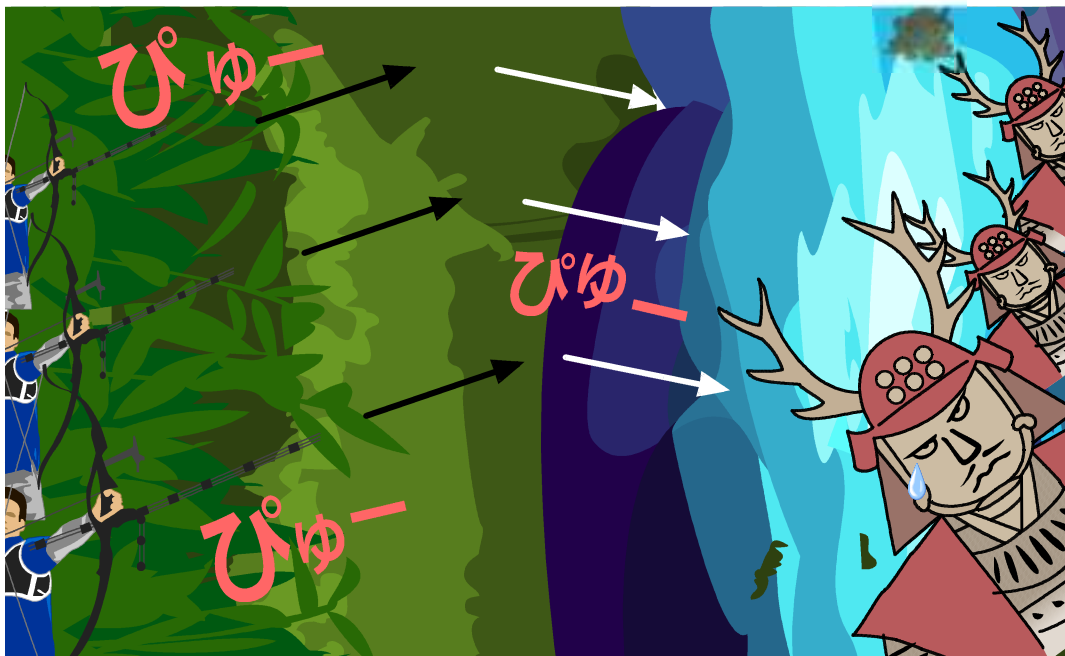
「そのころ、ちからのあつた
ときしのおしろだよ。ちずの
○のところだ」

せんごくじだいの なかまず



そのころ、ときしのけらい
ののぐちしきぶしがくのじょ
うのとのさまになったんだ。

そんなあるひのこと。とつ
ぜんさたけしにねがえったお
だしのけらいえどさきけんも
つしにせめられた。



「それで、どうなったの？」

「**くのじょう**は、よくもちこたえたんじゃない。それには、ひみつがあったんだ。じつはね、**くのじょう**は、くふうをこらした おしろだったんだ」

「え～、どんなくふうがあったの？」

「ん～、いいしつもんだね。

まず、①1のくるわの「どるい」②みなみのほりは、かぎのようにまがったほり（虎口こぐち）③にしに2つのほりきり④どばしが、あったんだ」



「そりゃそうだ。くのじょう
にだって、はなそうね」
と つれていってくれた。お
じいちゃんは、ようじができ
てかえった。

くのじょうにつくと、けん
さんが、はなしてくれた。

「しろは、おおきく3つのく
るわ (ほりや どるいなどで、くぎられたところ)
が、あって、そのなかにいろ
いろなくふうが、こらされて
いたんだよ。このちずをみて
・・・」

と もってきたちずをみせて
くれた。

東

しっちたい

(ときどきみずにおおわれるひくいとち)



図8-21 久野城

おつとがわわきのたんぼ

さんこう うしくしし こだいちゅうせい

参考「牛久市史 古代中世」より

①1のくるわひがしがわの「どるい」をめざして、あるきだした。

まず、いりぐちをのぼっていくと



よいしょ！
よいしょ！。
「はあ はあ」
いきがきれてきた。のぐちさん、だいじょうぶ？

のぼりおえた
ところにいぬば
しりが、あった。



さらにのぼって
いくと おはかが、
みえてきた。
のぐちけのはかだ。



ここが、1の
くるわだ。ひがし
がわに、どるい
があるはずだが、
わかるかな？



どこかな？



ここだよ。



ずっと、つづいていたよ。

どるいのむこうに なにかが みえた。



あ！ 2のくるはだ。いまは、はたけになって
いるようだ。

ちかよってみると・・・。



ここが、2のくるわだ。

1のくるわのおくにすすむと3のくるわがみえた。



でも、くさだらけ。

しかたなく、したまで
おりて、みなみのとじょ
うぐちからのぼることに
した。

みなみがわのみちを
すすんでいったが・
・。

「と　とじょうぐちが、
なーい」
どこだ　どこだ？



「ん～いくらさがしても
みつからなーい。ざんね
ん」

もどって、1のくるわ
から3のくるわにいくこ
とにした。

また、いりぐちから



くさをわけいって3の
くるわに・・・。



ここからどばしをみつけにいくと
にした。

ところが、3のくるわからした
をみると こんながけだ！



がさがさがさ。あきら
めて1と3のくるわのあ
いだのほりを おりて・
・・。



うえをみると



すごいがけた！これじゃー、てきもあがれないぞ！すごいーい。

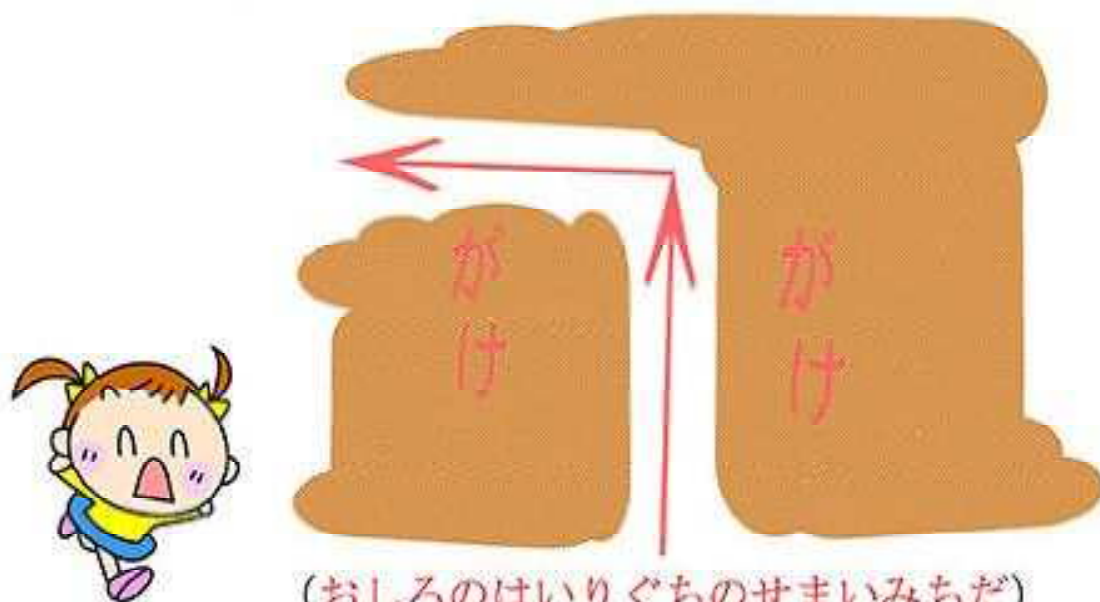
そこから、さらにした
に おりていくと・・・

・。 14ページのまるじるしの
しゃしん



「く」のじに なってい
るところがあった。
「こぐちかな?！」

「こぐちって、なーに？」



(おしろのはいりぐちのせまいみちだ)

でも、やっぱりちがうかな？

このまま、さきに、いくと
どばしがあるはず・・・。で
も、あれていて、みつからな
かった。

じつは、このしろ
あとは、のぐちくみ
あい(野口氏の末裔)
が、まいとし、2がつに
せいびしていたんだが、
コロナで3ねんかんやれ
なかったんだ。



みなみは、たんぽ。ひがし
は、しっち（しめったひくいとち）。
てきが、せめてくるのは、だ
いちつづきのにしがわときた
がわだ！。



「それで、たたかいは、どうなったの？」

きゅうにせめてきたてきは、やく500にん。まもるみかたは、やく100にん。まもりのかたいくのじょうもおちてしまったんだ。

このたたかいでのぐちしきぶしが、ごぼうばたけで、うちじに。なくなったんだ。

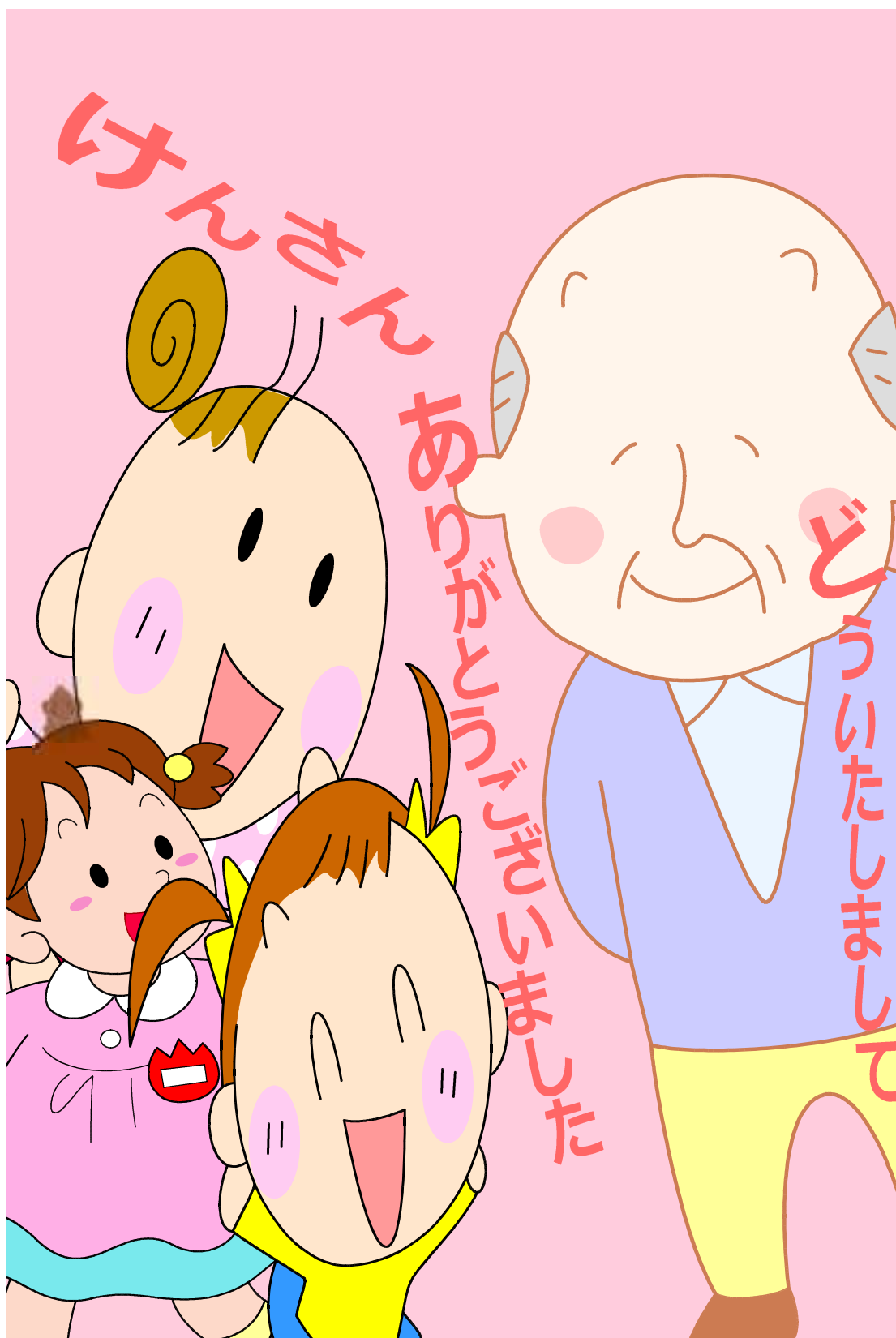


「だから このちいきでは、
このころろ  を わすれな
いために ごぼうをつくらな
いようになったんじゃ」

「えー。すごい！ いまも、
つくってないんだ。

びっくり！

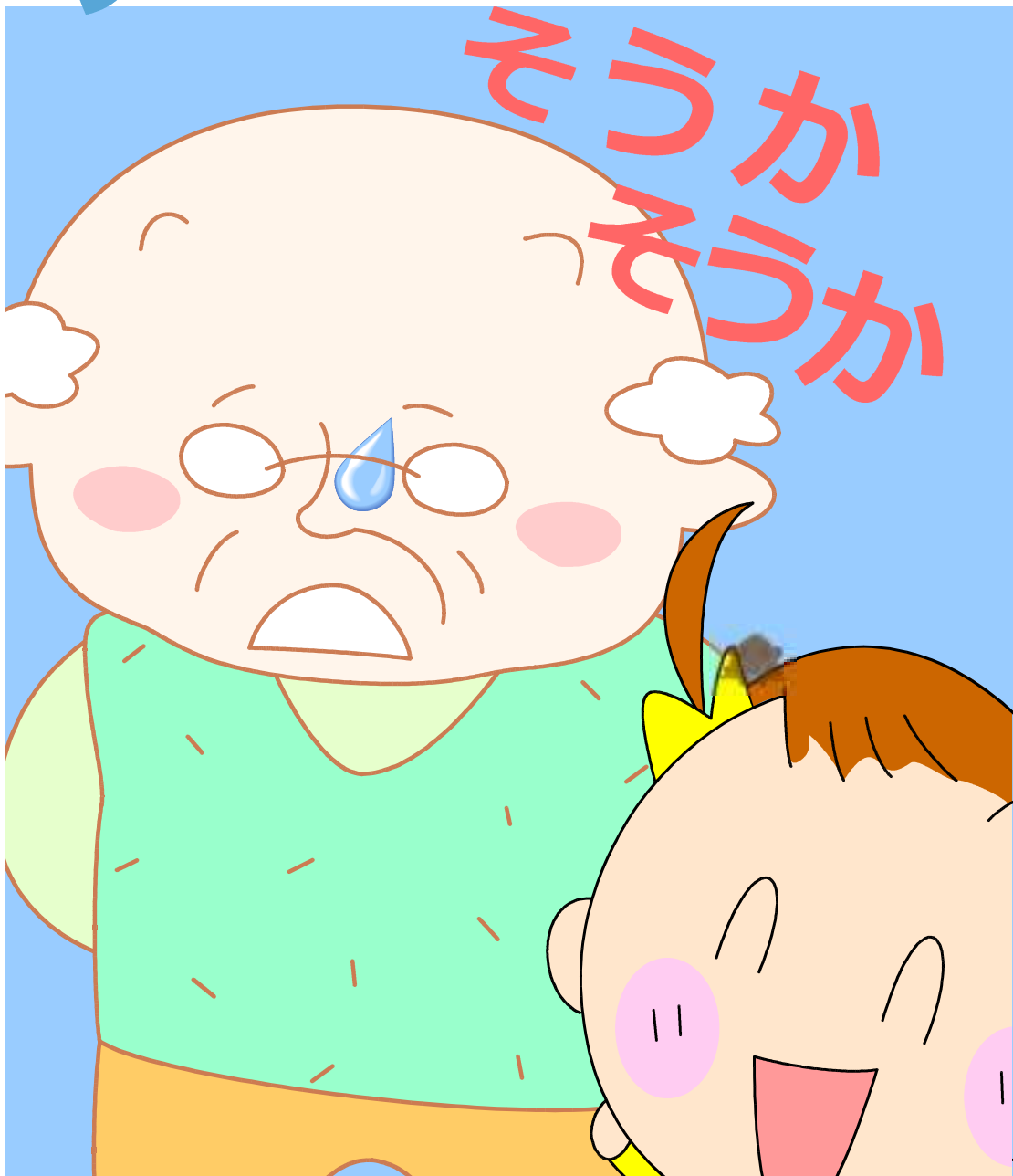
「そうだったのか！」
と なっちゃん なつとく。



なっちゃん、むかえに
きたおかあさんと かえ
っていった。

そのよる、おじいちゃ
んに ごぼうをつくらな
いわけを おしえてあげ
たよ。

すると



「よく、しらべたね」

えらい えらい

と めになみだをうかべ
て、よろこんでくれた。

なっちゃん、おもわず
にっこり。

こうして、なっちゃん
は、**くのじょう**が、おく
ののたからものの一つだ
ということが、よーくわ
かった。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。

またね